



笑顔とやる気いっぱいの中 生徒自らが常に鍛え続ける中

# 七中だより



第 2 号 中野区立第七中学校《学校だより》  
URL <http://homepage3.nifty.com/nk-7-j/>

平成29年5月15日  
TEL 03-3389-4171

## 部活動を思う

校長 池田 俊一

木々の緑が清々しい季節がやってきました。GWはお天気に恵まれ、充実した日々をおくれた方が多いのではないのでしょうか。

ちょうどこの時期は、運動部では2、3年生にとって大切な春の大会がありました。競技ごとにそれぞれの方式で大会が開催され、寒い冬の間身に付けた技術とみんなで培ったチームワークを存分に発揮し試合に臨みました。結果は？と申しますと、他校も同じように頑張ってきたところもあり、思うように勝利は得られませんでした。しかしこの大会が終わってしまうと3年生にとっては残すところあと1大会となります。これからは、運動会や考査などもあり思うように練習ができないこともあります。今までやってきたすべてを出し切り、さらに向上しつつある途中での最後の大会になります。すべてのチームや個人は、必ず負けて退く場面に遭遇します。その時に後悔のないように時を大切に使うことを願っています。また、2、1年生も先輩たちの勝利に貢献しなければなりません。競技ではたった一勝することは本当に大変なことです。そのなかで「後輩の支え」がどれほど大切なものか、是非2、1年生にも張り切ってほしいと思います。将来、先輩、後輩として頑張ったつながりはいいものです。

ここからは、自分のことを書かせていただきます。保護者会でもお伝えしましたが、私は、都立石神井高等学校の卒業生で、バスケットボール部に3年間所属していました。そ

のおかげで教員になってからもバスケットボール部の顧問として多くの生徒に接することができました。そのバスケットボールと出会った母校石神井男子バスケットボール部が、創部初めての関東大会出場を決めました。今までベスト8の壁に跳ね返され続けてきましたがとうとう私立の壁をこじ開けたのです。

「私自身、駒沢の屋内競技場に応援に行き、60をこえた先輩や後輩と一緒に必死に応援しました。残り3.6秒から逆転のシュートが決まり82-81で勝利を確信した瞬間は、久しぶりに血が湧きたつ覚えを覚えました。現役時代にしごかれまくった先輩や合宿を共にした後輩たちとハイタッチを交わしたあの瞬間は、もう一生ないかもしれない。私にとって歴史に残る瞬間に立ち会い本当に感激しました。その石神井高校の3年部員に第七中出身の生徒が2人所属し活躍していることも喜びを大きくしています。

さて、部活のことを書きましたが、部活に入らなければダメだと言っているわけではありません。地域やクラブチームで頑張っている人も大勢いるし、文化的な活動に取り組んでいる人もいます。その中で大事なことは、「一生懸命にやる。迷わずやる。努力し続ける。」ことです。素晴らしい技術を身に付けるとともに、一生付き合える先輩、同輩、後輩、先生、コーチ等の人たちに出会うチャンスです。それは何物にも代えがたい宝物です。是非、自分で選んだ活動を充実させていきましょう。

## 異動した先生方からのメッセージ

5月2日、離任式を行いました



※徳田先生は現任校のご校務のため  
ご欠席でした。

深井 先生

3年間大変お世話になりました。4月より小平市の中学校に転任いたしました。中野からは遠いところなので知っている人は少ないと思いますが、全校生徒592名と七中よりはかなり大きい学校です。周りに畑も多く様々な草花が  
あふれています。七中と同じように部活動が盛んで、生徒が19の部で活動  
しています。皆きもちよくあいさつをしてくれるのでそれを聞くと七中を思い出  
します。七中はいよいよ70周年ですね。これからもすばらしい学校を皆でつ  
くって行ってください。

須永 先生

みなさんお元気になっていますか？私は墨田区にある中学校で耳が不自由な  
生徒への授業を行っています。今までと異なる環境に戸惑うこともあります  
が、新しいこと、知らなかった環境に新鮮さを感じています。学ぶことに年齢は関  
係ありません。みなさんも日々学んでいきましょう！

徳田 先生

体育の授業やクラスでの活動、運動会・合唱コンクール・スキー移動教室な  
どの行事、また、バレーボール部顧問として部員たちと一緒に活動したことな  
ど、七中での生活全てが忘れられない良い思い出です。もっとみなさんと過ご  
したかったなあ・・・というのが正直な気持ちですが、たくさんの思い出をく  
れた生徒のみなさん、先生方、保護者のみなさまに感謝しています。これから  
もみなさまのご健康とご活躍をお祈りし、応援しています。ありがとうございました。

中島 先生

七中を離れて1ヶ月が経ちました。皆様お元気でお過ごしのことと思います。現在の勤務校は各学年5クラスの規模の大きな学校で、環境の変化に対応しようと慌ただしく過ごしております。七中への異動が初めての異動だったため、3年前の4月は緊張と不安でいっぱいでした。しかし、教職員の方々、生徒、地域の方々に恵まれ、落ち着いた環境の中で充実した3年間を過ごすことができました。七中では生徒との関わりや学校内外の仕事の中でいろいろな機会を与えていただき、前の学校とはまた違った経験をたくさん積むことができました。この学校で培った力を、次の学校でもいかしていきたいと思います。3年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

白瀬 先生

先生となって初めて過ごした七中での2年間は、とても内容の濃い、充実した日々でした。疲れているときは、D組の皆さんの笑顔が、私にとっての心のビタミン剤でした。これからの七中生の活躍と成長を心からお祈りしています。本当にありがとうございました。

高野 先生

2年間という短い間でしたが第七中学校大変お世話になり、ありがとうございました。異動した学校は、同じ中野区の中学校です。いろいろな場面で第七中学校との交流があります。私を見かけた際には、声をかけてくれると、とてもうれしいです。少しだけ離れたところから、みなさんの成長した様子がみられることを楽しみにしています。

### 第一回 児童生徒連絡会



5月8日の放課後、第七中学校に江古田小学校と江原小学校の代表委員が集まって、各学校の児童生徒が考える課題や悩みを話し合い、それぞれの学校の対応について意見交流を行いました。



## オリパラ体験・オリンピックの体験と選手を支えるコーチから学ぶ



七人制ラグビーオリンピックリオ大会  
日本代表選手 豊島 翔平 氏  
代表チームコーチ 見山 範泰 氏  
講話をうけての感想を紹介します。

「挫折してもあきらめないことや、苦手意識をもたないことの大切さを感じました。スポーツだけでなく、どんなことに対しても目標を設定して努力することはとても難しいと思います。でも、だからこそ頑張って目標を達成しないと成長することはできないということを改めて感じることができました。」

「スポーツができる人は、ずっと才能がある人だけかと思っていました。その才能は皆が気づかないだけで人それぞれが持っていると思います。自分はスポーツが苦手なので、今後自分に向いているスポーツを見つけていきたいです。今は夢がなくても、夢を作り、そして夢を叶えたいです。」



「講演会から、スポーツを通してチャレンジすることの大切さについて改めて理解することができた。筋力や体力をつけていくには、5種類の食事をとること。最大限の努力をしてこそ筋力や体力がついていくものだということを学ぶことができた。夢や目標に向かって努力をしていこうと思いました。」※実際の映像を示しながら「筋肉をつけたい人はバランスの取れた食事を増やし、痩せたい人はバランスのとれた食事を減らすことが大切です。」とのお話がありました。

「オリンピックは選手だけではなく、他にもたくさんの人たちが協力し合って成り立っているのだと感じました。まだまだ大きな争いが起きている国がいっぱいあります。そんな国々もオリンピック・パラリンピックを通じて平和の大切さに気付いてほしいです。」

「仲間を信じて協力することの大切さを学びました。自分からチャレンジすることの大切さも学びました。努力して報われないことはないことを知りました。これからはもっと自分から頑張ります。」 ※とても良い機会になりました。

## 学校からのお知らせ

学校情報システムへの登録をお願いします。登録用のURLにメールを送っていただき、返信メールに示されるアドレスにアクセスしていただくことで登録することができます。  
※毎月1日に受信状況を確認していただくためのメールを発信しています。  
※5月1日と5月11日にメールを発信しています。ご確認ください。